

2022 年 2 月 6 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は 9 時より。11 時からは録画を視聴できます。

2月6日 聖日礼拝	前奏 招詞 詩篇 46 章 10 節 「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」アーメン	会衆賛美 聖歌 201 (1, 2 節)	会衆賛美 神の国と神の義を (1 回)	主の祈り	交読 詩篇 16 篇 1 ～ 8 節	礼拝祈禱	使徒信条	聖書朗読 マタイの福音書 22 章 1 ～ 14 節	説教 婚礼の礼服 荻野泰弘牧師	会衆賛美 聖歌 577 (1, 2 節)	献金 聖歌 376	祝祷	報告	後奏 感謝祈禱
-----------	--	----------------------	---------------------	------	--------------------	------	------	----------------------------	-----------------	----------------------	-----------	----	----	---------

■聖歌 201 「罪とがを赦され」(1, 2 節)

- ① つみとがを ゆるされ 神の子と なりたる
わがたまの よろこび くらべうる ものなし

※日もすがら あかしせん 夜もすがら 主をほめん
みすくい は たえなり みすくい は くすしと

- ② 主にまったく したがい 安きえし わが身に
あまつやの うたごえ ひびきくる こちす

■「神の国と神の義を」(1 回)

神の国と神の義を まず求めなさい
そうすればみな与えられる ハレル ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 16 篇 1 節～8 節

- 1 神よ 私をお守りください。
私はあなたに身を避けています。
- 2 私は主に申し上げます。
「あなたこそ 私の主。
私の幸いは あなたのほかにはありません。」
- 3 地にある聖徒たちには威厳があり
私の喜びはすべて 彼らの中にあります。
- 4 ほかの神に走った者の痛みは 増し加わります。
私は 彼らが献(ささ)げる血の酒を注(そそ)がず
その名を口にいたしません。
- 5 主は私への割り当て分 また杯。
あなたは 私の受ける分を堅く保たれます。
- 6 割り当ての地は定まりました。私の好む所に。
実にすばらしい 私へのゆずりの地です。
- 7 私はほめたたえます。助言を下さる主を。
実に 夜ごとに内なる思いが私を教えます。
- 8 私はいつも 主を前にしています。
主が私の右におられるので
私は揺るがされることがありません。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 22章1～14節

- 1 イエスは彼らに対し、再びたとえをもって話された。
- 2 「天の御国は、自分の息子のために、結婚の披露宴を催した王にたとえることができます。
- 3 王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。
- 4 それで再び、次のように言って別のしもべたちを遣わした。『招待した客にこう言いなさい。「私は食事を用意しました。私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整いました。どうぞ披露宴においでください」と。』
- 5 ところが彼らは気にもかけず、ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、
- 6 残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。
- 7 王は怒って軍隊を送り、その人殺しどもを滅ぼして、彼らの町を焼き払った。
- 8 それから王はしもべたちに言った。『披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。
- 9 だから大通りに行って、出会った人をみな披露宴に招きなさい。』
- 10 しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。
- 11 王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない人が一人いた。
- 12 王はその人に言った。『友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入ってきたのか。』しかし、彼は黙っていた。
- 13 そこで、王は召使いたちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりすることになる。』
- 14 招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。」

■聖歌577「聖なるものと」(1, 2節)

- ①聖なる者と なさんとて 主われらをば めしたまえば
聖なるものを おいもとめて ぞくなるものと 手をば切らん
- ②聖なる者と ならんため 聖なる君の 言うことばを
信じて学び 実行せば おお みこころに そうことをえん

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈禱 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」